

平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス  
 コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 昌徳  
 (氏名) 藤原 英博

TEL 075-441-2333

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	4,991	26.2	1,009	335.0	876	632.1	633	965.4
26年9月期第1四半期	3,955	4.6	232	△30.5	119	△40.7	59	△69.7

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 935百万円 (165.8%) 26年9月期第1四半期 351百万円 (△40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	56.48	—
26年9月期第1四半期	5.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第1四半期	22,338	14,187	57.0	1,135.76
26年9月期	21,907	13,420	54.9	1,072.97

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 12,728百万円 26年9月期 12,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	2.0	1,100	△37.0	1,100	△37.2	750	△36.9	66.92
通期	20,000	3.0	2,300	△39.4	2,300	△36.7	1,500	△42.4	133.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期1Q	11,368,400 株	26年9月期	11,368,400 株
27年9月期1Q	161,137 株	26年9月期	161,137 株
27年9月期1Q	11,207,263 株	26年9月期1Q	11,337,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国の財政問題への懸念や新興国経済の減速感が強まるなど、先行きが不透明な状況になりました。一方、わが国経済におきましては、政府の経済政策および日銀の金融緩和策による企業業績の改善や、雇用環境の持ち直しの動きも見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが属するフラットパネルディスプレイ業界におきましては、テレビやIT機器向けを中心とする大型パネル市場では、テレビなどのディスプレイサイズの大型化によって面積需要が増加したことなどから、需給がタイトな状態が続きました。この結果、従来からの主力サイズである32インチパネルが供給不足に陥り、価格が継続的に上昇しました。一方、タブレット端末向けパネルは、市場の成長鈍化にともない価格の下落が続きました。中小型パネル市場では、スマートフォンについて、大手ブランドが新機種を発売し、また小米(シャオミ)など一部の中国メーカーが着実に販売台数を伸ばしましたが、パネル価格は競争の激化によって下落しました。なお、パネルメーカーは、旧正月商戦などに向けて総じて高い稼働率を継続しました。

そのような状況の中、当社グループにおきましては、大型パネル向けフォトマスク需要は、開発と量産の両用途で前期に引き続き堅調に推移し、中小型パネル向けフォトマスク需要は、開発用途が減少した一方で、量産用途は増加しました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高49億91百万円(前年同期比26.2%増)、営業利益10億9百万円(前年同期比335.0%増)、経常利益8億76百万円(前年同期比632.1%増)、四半期純利益6億33百万円(前年同期比965.4%増)と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億31百万円増加し223億38百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億35百万円減少し81億51百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年以内返済予定の長期借入金含む)や未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億67百万円増加し141億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成26年11月10日に公表いたしました「平成26年9月期決算短信」から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、頂正科技股份有限公司(連結子会社)の機械装置の減価償却方法は定額法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定率法に変更いたしました。

当社グループの設備投資計画の見直しを契機として、技術革新による設備の経済的陳腐化の加速等を勘案する中で、定率法が当社グループの経済的実態をより適切に反映することができる費用配分方法であると判断いたしました。また、当社グループのグローバル展開の中で、海外拠点の重要性が高まり、グループ内の会計処理を定率法に統一する事がより合理的であると判断いたしました。

この結果、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が48,280千円増加し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は48,280千円減少しております。

#### (会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社及び頂正科技股份有限公司(連結子会社)の機械装置は、当社グループの設備投資計画の見直しを契機に、当第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しています。

ビジネス環境の変化、製品ライフサイクルの短縮等を勘案する中で、より実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に変更するものです。

この結果、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が13,689千円増加し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、13,689千円減少しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,561,380	8,583,672
受取手形及び売掛金	3,981,819	3,870,474
商品及び製品	131,293	16,916
仕掛品	276,781	187,712
原材料及び貯蔵品	1,328,800	1,352,292
その他	523,297	400,682
貸倒引当金	△1,773	△2,252
流動資産合計	13,801,600	14,409,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,628,176	3,578,848
機械装置及び運搬具(純額)	2,128,931	1,942,738
土地	1,607,750	1,607,750
その他(純額)	203,654	221,561
有形固定資産合計	7,568,512	7,350,900
無形固定資産		
のれん	23,187	20,526
ソフトウェア	143,273	146,777
無形固定資産合計	166,460	167,304
投資その他の資産		
その他	371,168	411,130
貸倒引当金	△200	△100
投資その他の資産合計	370,968	411,030
固定資産合計	8,105,941	7,929,235
資産合計	21,907,541	22,338,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,857,952	3,941,981
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	855,377	427,060
役員賞与引当金	60,000	-
その他	2,201,136	2,422,427
流動負債合計	7,574,466	7,391,470
固定負債		
長期借入金	800,000	650,000
その他	112,626	109,719
固定負債合計	912,626	759,719
負債合計	8,487,093	8,151,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,335,413	4,335,413
利益剰余金	3,559,021	4,023,930
自己株式	△148,328	△148,328
株主資本合計	11,855,828	12,320,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,670	89,480
為替換算調整勘定	98,582	318,578
その他の包括利益累計額合計	169,253	408,059
少数株主持分	1,395,366	1,458,746
純資産合計	13,420,448	14,187,542
負債純資産合計	21,907,541	22,338,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,955,753	4,991,387
売上原価	3,255,239	3,268,964
売上総利益	700,514	1,722,423
販売費及び一般管理費	468,512	713,275
営業利益	232,001	1,009,147
営業外収益		
受取利息	1,054	2,094
不動産賃貸料	7,188	7,350
受取手数料	7,593	-
その他	10,330	2,490
営業外収益合計	26,167	11,935
営業外費用		
支払利息	5,435	3,919
為替差損	115,143	130,430
その他	17,827	9,984
営業外費用合計	138,406	144,334
経常利益	119,762	876,748
特別損失		
有形固定資産除却損	718	342
特別損失合計	718	342
税金等調整前四半期純利益	119,044	876,405
法人税、住民税及び事業税	42,426	355,091
法人税等調整額	5,101	△16,908
法人税等還付税額	-	△95,879
法人税等合計	47,528	242,303
少数株主損益調整前四半期純利益	71,515	634,102
少数株主利益	12,099	1,084
四半期純利益	59,415	633,017



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,515	634,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,491	18,809
為替換算調整勘定	263,853	282,291
その他の包括利益合計	280,344	301,101
四半期包括利益	351,859	935,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,745	871,823
少数株主に係る四半期包括利益	70,114	63,379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。